



### 担当業務の内容

私は、全国青年市長会会員市として、「災害相互応援に関する要綱」の趣旨に添って、東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県陸前高田市(会員市)の復旧・復興に力を尽くして支援を行ってまいりました。

主な担当支援内容は以下のとおりです。

#### (1) 暮らしの再建

- ・子ども会活動の支援
- ・地域行事・イベント開催の支援 など

#### (2) なりわいの再生

- ・販路開拓のための情報発信支援
- ・商店街再興のための「まちづくり会議」等の活動支援 など



### 苦労したこと・工夫したこと

私が派遣されたのは、震災から7ヶ月が過ぎたころでした。まだ道路には、瓦礫やくしゃくしゃになった車が転がっており、半年以上経つのにまだまだ復興は進んでいないという印象を受けました。市職員は市長をはじめ全員が作業着姿で、市内を走る車も作業車が多く、まち全体に被災地という空気が漂っていました。私たちの業務は、生活基盤の復旧を優先せざるをえない市役所の手の届かない部分への支援として、時には一民間団体の活動支援や一市民の方のお手伝いもさせていただきました。何をやるべきかは自分たちで決めなければいけません。ある意味、何も無いところから自分で考え、生み出すという作業は公務員が苦手なことです。ただ、これからの行政に求められる分野でもあるので、貴重な経験となりました。

### 印象的なエピソード・所感

現地の方は明るく、遠く東京から来た私を逆に激励して下さったり、週に何度もご自宅に呼んでいただき食事をご馳走になったりなどしました。こちら2ヶ月しかいないので積極的に現地の方と関わられるよう、お誘いを受けたものは全てお受けするようにしていました。また、活動する中で、瓦礫を有効活用してキーホルダー(ガレキーホルダー)を作製している団体と知り合い、その活動のお手伝いをさせていただく機会がありました。稲城市の職員の皆さんにも呼びかけ、そのガレキーホルダーをはじめ、多くの陸前高田の物産を購入いただき、復興支援にご協力いただきました。

現地の方が最も恐れているのは、世間の方が震災のことを忘れてしまうことです。この震災を決して風化させないよう、今後も自分なりに細くても長い支援を続けていきたいと考えています。

